

大岡の風 7 月



令和 8 年 6 月 30 日
横浜市立大岡小学校
TEL (711) 0818
FAX (713) 3563

自らの学びを振り返る大切さ ―宿泊を伴う学習での姿から―

校長 後明 好美

梅雨に入り、雨がちな日が増えています。5月、6月の大岡小は、宿泊を伴う学習が続く頃となっていて、5月末には4年生が上郷へ、そして6月17、18日には6年生が日光修学旅行へ行ってきました。学校だより作成の関係からこの原稿を作成しているのが修学旅行直後ですので、この後6月24、25日には5年生が三浦へ宿泊体験学習に出かける予定です。

初めての宿泊学習で見られた 4年生のエネルギッシュな姿

4年の上郷宿泊体験学習は雨がちな2日間となりましたが、子どもたちは思い切り楽しみました。科学館の見学や、キャンドルファイヤー、学年の友達と共にすごす夜、火おこし体験といった初めての体験をエネルギッシュに活動しました。宿泊先の上郷・森の家のスタッフからは、4年生がしっかりとルールを守れたことについて、褒めていただきました。そして「大岡小のみんな食事の後片付けや部屋の掃除等、ルールを守ってくれてありがとう。そのおかげでお皿を洗うのがはかどったり部屋の掃除をこの後気持ちよくできたりするなど、スタッフが気持ちよく働けます。ルールを守ることは、周りの人たちをハッピーにすることにつながるのです。」と、お話しくださいました。学校での宿泊が初めての子どもたちにとって、とても大切なことを教えていただいたと感じました。

豊かな感覚・振り返りとよりよい自分の在り方を考える 最高学年らしい姿

6年の日光修学旅行は、梅雨の中ではありましたが天気恵まれた2日間となりました。それぞれの活動や見学を楽しむだけでなく、子どもたちが自然あふれる日光を満喫していた姿がとても印象的でした。奥日光では猿や鹿をバスから見るのができ、「どこどこ!」「ほんとだ!」と大歓声を上げていました。夕日に照らされた中禅寺湖や朝靄のかかる湖を見て、「きれい!」と感嘆したり、いろは坂から見下ろす山々の緑に圧倒されたりしていました。特に、川に反応して「先生、この川の名前は何か。」「きれいな水!」等々思わず口にする子どもが多くいました。大岡川のほとりの学校の大岡っ子らしさだと、微笑ましく思いました。

際立って素晴らしいと感じたのは、1日目の夜から翌日にかけてでした。

就寝前に室長会議が行われたのですが、そこでは室長の子どもたちが一斉に挙手して次々にその日の振り返りと次の行動に向けた改善ポイントを発表し合っていました。日頃の授業でも、大岡小では意見交換や振り返りを重視しているので、その成果が修学旅行でもしっかり表れていました。翌朝からは、振り返りや教師との共有を自らの行動に生かし、使った部屋の片づけや東照宮でのグループ活動をしっかり行ってよりよい旅行にしようと頑張る子どもたちの姿がありました。教師とともに自らを常に改善していこうとする学年の様子に、さすが大岡っ子6年生と感じましたし、これからのさらなる成長も楽しみに became しました。

「当たり前のことを当たり前に行えることは素晴らしい」ということばから考えて

上は、横浜の生んだ元プロ野球選手 松坂大輔さんが以前書かれた色紙にあったことばです。挨拶をする、時間を守る、ルールや決まりに従う、後片付けをしっかりと行う等々、4年生も6年生も宿泊を伴う学習で頑張っていたことは、当たり前のことといえるかもしれません。しかし、当たり前のことを当たり前に行えるということは、実は素晴らしいのだということ、学校では指導しています。爽やかな挨拶、5分前行動、自分の使ったものはしっかりと片付ける、他の人に迷惑をかけない等、校内で頑張ってきたことを場の変わる校外でも、数日にわたって、できるかどうか、宿泊体験学習や校外学習はそれを試す場でもあります。

6年生は、修学旅行翌日の授業で深い振り返りを行い、自ら、そして集団としての2日間を次の自分たちの姿へと生かしていく様子があったと、各担任から聞きました。学校の外でもできたことは自らを褒めて認め、改善すべきところもしっかりと振り返り、翌日からの学校生活で頑張っていく、そのような姿が見られるのが大岡っ子の素晴らしさだと感じました。

この後は、5年生の宿泊学習です。2度目の宿泊体験学習となる三浦を、子どもたちがどのように過ごし、どのような学びを得てくるのか、とても楽しみです。

7月もどうぞよろしくお願い申し上げます。